

第5章 インターフェースの設定

5.1 インターフェース設定メニュー

この章では、パラレル、ネットワークおよびUSBの各インターフェースの設定を変更する方法を示します。

変更できる項目は以下の通りです。

- I/F選択

HOSTとのインターフェースを選択します。

1. ジドウセンタク パラレル、ネットワーク、USBの各インターフェースのうち、最初に印刷データを受信したインターフェースを有効にします。他のインターフェースは無効になります。印字が終了後、「I/F切り替え時間」で設定された時間が経過すると全てのインターフェースが受信可能になります。どのインターフェースが有効になった場合でも、ネットワークからプリンターのステータスを確認することができます。
2. パラレル パラレル・インターフェースからのデータのみを受信できます。
3. USB USBインターフェースからのデータのみを受信できます。
4. ネットワーク ネットワーク・インターフェースからのデータのみを受信できません。

- I/F切り替え時間

「I/F選択」を「ジドウセンタク」に設定した時に、占有されたインターフェースが開放されるまでの時間を設定します。

切り替え時間は全ての印字が終了してから開始します。印刷不可の場合は時間は停止しています。


- **パラレル設定**

パラレル・インターフェースのモードを選択します。

1. **スタンダード (ECP)** IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースでECPモードまでをサポートしています。
2. **スタンダード (ニブル)** IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースで、ニブルモードまでをサポートしています。
3. **USPC** 単方向パラレル・インターフェースです。従来のM6XX/M7XXシリーズにおける「スタンダード」と同じになります。
4. **コンバージド** 3270PC、5250PC等のオンライン・アプリケーションを使用する時に選択してください。


- **ネットワーク設定**

ネットワーク・インターフェースの設定とネットワーク設定値の詳細印刷を行います。

 以下の項目に関しては、『PowerTyper V8XX/1000 ネットワーク設定ガイド』を参照。

1. NW詳細印刷
2. DHCP設定
3. IP アドレス
4. サブネットマスク
5. ゲートウェイアドレス
6. エラー表示
7. NWモニタ

インターフェース設定項目

メニュー項目	選択項目*	解説
I/F センタク	ジドウセンタク パラレル USB ネットワーク	データを受信するインターフェースを選択します。 ジドウセンタク:プリンターの電源投入後、最初にデータを受信したインターフェースを有効にします。パラレル・インターフェースが有効になった場合も、ネットワークからプリンターのステータスを確認することができます。 パラレル:パラレル・インターフェースを有効にします。 USB:USBインターフェースを有効にします。 ネットワーク:ネットワーク・インターフェースを有効にします。
I/F キリカエジカン	5 sec～255 secの範囲で1 sec単位で設定 (初期設定値: 30 sec)	I/F選択が「自動選択」の場合に、インターフェース切り替え時間を設定します。
パラレル セッテイ	スタンダード (ECP) スタンダード (ニブル) USPC コンバージド	スタンダード (ECP):IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースで、ECPモードまでをサポートします。 スタンダード (ニブル):IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースのニブルモードまでをサポートします。 USPC:単方向パラレル・インターフェースです。 コンバージド:IBM PS/55、5550で使用するためのモードで、3270PC、5250PC等のオンライン・アプリケーションを使用するとき選択します。
ネットワーク セッテイ	—	詳細に関しては、  『PowerTyper V8XX/1000 ネットワーク設定ガイド』を参照。
シヨキカ	トリヤメ ジッコウ	インターフェースの設定を工場出荷時の値に戻します。

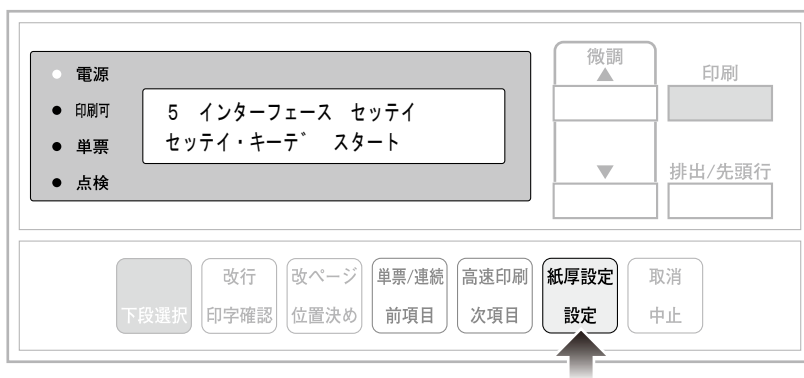
* 網かけされている項目が工場出荷時の初期設定値です。

5.2 インターフェース設定値の変更方法

- 1 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、下段選択スイッチを押して「ゲダン キノウ」と表示していることを確認します。



- 2 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「5 インターフェース セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。



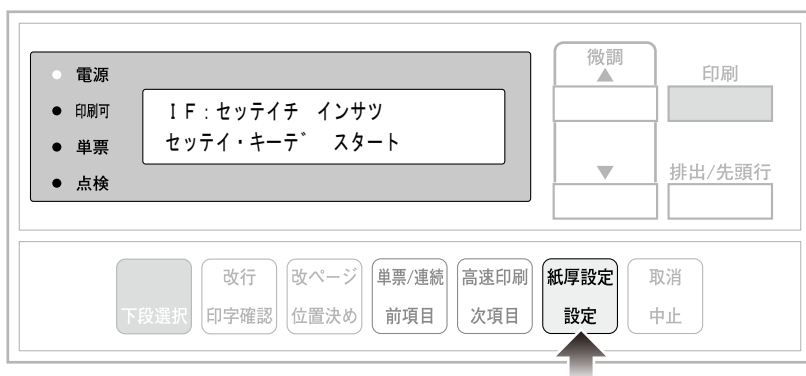
- 3 インターフェース設定項目 (5-3ページ) を参照しながら、次項目あるいは前項目スイッチを押し、設定を変更するメニューを選択し、設定スイッチを押します。



- 4 次項目あるいは前項目スイッチを押し、インターフェース設定項目を参照しながら項目を選択し、設定スイッチを押します。
初期設定を記憶します。



- 5 設定値を印刷するときは、次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IF: セットイチ インサツ」を選択し、設定スイッチを押します。



- 6 用紙をセットし、印刷スイッチを押します。



I/F設定値を印刷します。印刷形式は次の通りです。

印刷したデータは記録として日付を記入して、本書と共に保管してください。

* I / F 設定値 *	
[共通項目]	
I / F 選択	自動選択
I / F 切り替え時間	30秒
[パラレル設定]	
パラレル設定	スタンダード (ECP)
[ネットワーク設定]	
N W バージョン	Ver 2.0.0
ホスト接続機能バージョン	Ver 1.2.0
M A C アドレス	00:A0:7A:06:03:54
D H C P 設定	無効
I P アドレス	192.168.129.218
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイアドレス	192.168.129.030

- 7** 印刷が終了し、**5** の表示に戻ったら、印刷スイッチを押します。
初期診断テストを実行し、初期設定モードから抜けます。
設定した初期設定値は、電源を切っても消えません。



以上で、初期設定値の変更は終了です。

5.3 インターフェース設定値の初期化

- 1 印刷不可状態（印刷可ランプが消えている）で、下段選択スイッチを押して「ゲダン キノウ」を選択します。



- 2 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「5 インターフェース セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。



- 3 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IF:ショキカ」を選択し、設定スイッチを押します。



- 4 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「ジッコウ」を選択（初期化を中止する場合は「トリヤメ」を選択）し、設定スイッチを押します。



初期化が開始されます。



- 5 印刷スイッチを押して、「IF: ショキカ」の画面を終了します。
初期診断テストが実行されます。



この初期化はインターフェース設定値にのみ適用されます。